

未来を拓く
「幸せローカル」
Happy local
No.8

日本再生の鍵は「ローカル」にあり！
地域と日本の未来を拓く、
先駆的な取り組みに迫る。

今こそ、見せる！

コロナ禍で大きな打撃を受ける観光業界。
全国各地でホテル・旅館を運営する4名が集い、
業界の今とこれから展望を語り合った！

ツボン観光業の底力

特別座談会

座談会出席 青年会議所メンバー

それぞれの地域に根づいた

ホテル・旅館の歴史

会社の紹介。

桑島 1960年に祖父が創業した北こぶしリゾートは、世界自然遺産に指定されている知床半島の玄関口・宇登呂で宿泊業を営んでいます。「知床から、世界に誇る北のリゾートへ」をコンセプトに、「北こぶし知床ホテル＆リゾート」「KIKI 知床ナチュラルリゾート」「夕陽のある家 Onsen Hostel」の3館・全380室体制で、知床の自然を生かしたネイチャーリゾートを提案しています。

成田 私たちキャッスルホテルが運営する「ホテル・ロッジ舞洲」は、大阪市此花区の舞洲スポーツアーバンにあります。この島は2008年に大阪にオリンピックを誘致するために整備を進めた人工島



を宿泊業で生かしたいと申し出て、単身総社市に移住。厚生年金休暇センターのスタッフに継続して勤務してもらい、宿泊業のノウハウを教えてもらいました。以来、リゾートホテル「サントピア岡山総社」としてがんばっています。

緒方 両築は、老舗ホテルの支配人を長年務めていた父が独立して興した会社です。2008年には大分県由布市湯布院町に「御宿由府両築」、2010年には別府市觀海寺に「美湯の宿両築別邸」を開業し、合わせて50室の旅館を運営しています。当初は父母が趣味で営んでいたという認識でしたが、大学4年生のときに母が病気を患い、帰省して旅館を手伝ったことがあります。そのとき、お客様に心から喜んでいただきたいと思いながら仕事をしている自分に気づき、「楽しいな。私、この仕事に向いているな」と感じてしまつたんです(笑)。それで26歳になつたとき両築に戻つてきました。

コロナ禍を契機に、 シフトエンジに打つて出る

コロナ禍の影響は。

桑島 昨年2月ぐらいから客足が落ちてきて、4～6月はほぼ全館休館を余儀なくされました。7月にはGo To キャ

別府・湯布院全体として
日本の観光業を
盛り上げたい

新しい挑戦に対し、
一歩先んじて
動ける人でありたい

地域をよくしたいと
がんばっている姿を見ると
刺激を受ける

都心部において
緑の空間で過ごす価値を
発信したい

知床の地域ブランドを
さらに
上げていきたい！



緒方真美君

公益社団法人別府青年会議所
株式会社両築 専務取締役



樋口一真君

公益社団法人高松青年会議所
太洋開発株式会社 取締役室長



熊本地震の際に駆けつけて
くれたメンバーに、
絆の強さを実感



成田收彌君

一般社団法人明石青年会議所
株式会社キャッスルホテル 専務取締役



桑島敏彦君

一般社団法人斜里青年会議所
北こぶしリゾート 専務取締役COO

——そうした中、どんな取り組みを。
桑島 私たちは「北のネイチャーリゾートになる」とことを目指し、建物などのハードに対して毎年何らかの投資を行つており、今年はサウナを大々的にリニューアルしました。それが流水をイメージした「カクウナ」と、木の洞窟をイメージした「ウネウナ」です。どちらにも大きな窓が設置され、眼下には知床の大自然が広がります。冬にはオホーツク海の流水を眺めることもあります。6月19日にオープンし、

——ペーンなどで一時客足が戻りましたが、その後は低調が続き、昨年度の売上は前年度比の50%以下となっています。
成田 私どももほぼ一緒に、昨年末の第3波までは少しづつ右肩上がりで推移したのですが、第3波で年末年始の需要がしほみ、全体を通して見ると昨年度の稼働率は20%台というところです。
緒方 「緊急事態宣言」と「まん延防止等重点措置」が出るか出ないかを日々ニュースでチェックする状態でした。宣言が出た途端にキャンセルが相次ぎ、満室がゼロ室になることもあります。昨年度の稼働率は25～30%という状況でした。

ですが、別の開催地候補の北京に敗れ、その後は大阪市の負の遺産として多額の赤字を生み続けるエリアになつていました。そのため、民間に売却しようと市が公募を行い、私たちが当時は野外活動研修施設だった50室のホテル棟と14棟のログハウスをすべて購入し、2014年から大阪リゾート「ホテル・ロッジ舞洲」として運営に取り組んでいます。
樋口 私の地元は香川県高松市で、家業は製材業、私が現在勤める大洋開発はボウリング場などを運営するサービス業でした。それが2009年の厚生年金休暇区の舞洲スポーツアーバンにあります。この島は2008年に大阪にオリンピックを誘致するために整備を進めた人工島

桑島 北こぶしリゾート
温泉と、由布市・湯布院温泉にあります。

未曾有の危機でも思考を止めず、
新しいことに果敢に挑戦する

——これから夢は。

桑島 北は北こぶしリゾートがいたから知床のイメージがあがつてきましたよねといわれるように、地域ブランドを上げていきました。そして、そこによい循環が生じですね。そして、そこによい循環が生まれ、さらに地域ブランドが高まっています。私は今年で40歳なので、あと20年間でそれを達成したいと思っています。

緒方 2016年の熊本地震の際には由布市も甚大な被害を受け、「御宿由府両築」も半壊しました。そんな中、真っ先に駆けつけてくれたのが、今年度のJCI日本大分ブロック協議会会長である中根竜君です。その後も青年会議所のメンバーが続々と駆けつけてくれ、絆の強さを実感しました。卒業まで後2年、恩返しができるようにならります。

美湯の宿 両築別邸



①「御宿由府両築」の外観。2016年の熊本地震の際は、地震で半壊した旅館の再建のために青年会議所のメンバーたちが駆けつけてくれた／②「美湯の宿 両築別邸」の75m²のプレミアムルーム。別府の夜景と大自然を眺めながら、ゆったりとくつろげる／③コロナ禍を機に全室部屋食に変更。別府湾を一望できる客室での食事は大好評／④家族で入れる貸切風呂(3室)も用意

サントピア岡山総社



①サントピア岡山総社の空撮写真。約18万m²の敷地にはホテルやプール、体育館、屋外コート、キッズパークなどがあり、様々なスポーツやレジャーを楽しめる／②洋宴会場「マスカットホール」／③岡山県内最大級のプール「レジャーブルWAPS(ワップス)」。夏には子供たちの笑い声が響く／④2021年8月オープン予定のグランピング施設の内観

緒方 何か新しいことを始めなければと、うまいから、月に1回皆が集まる営業会議では様々なアイデアや意見が出されました。その一つがグランピング施設の新設で、8月1日にオープンする予定です。6月から予約をスタートしましたが、ありがたいことに8月末まで予約が95%埋まっています。製材業で出た端材をキャンプファイヤーのチップに活用するなど、グループ間でSDGsの取り組みを推進しながら、お客様に資源や自然の大切さを発信していきたいですね。

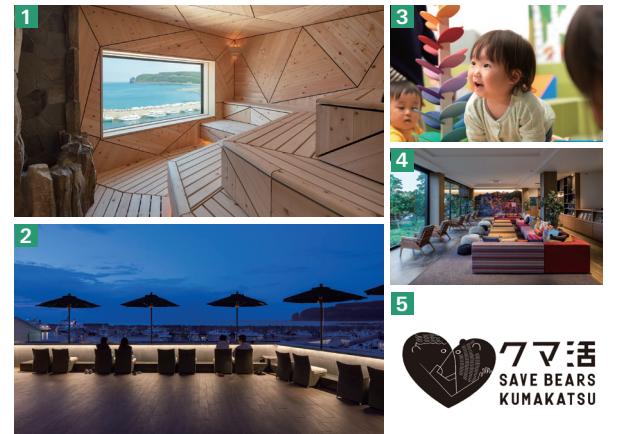
緒方 うちは団体も個人のお客様も受け入れてきましたが、一方でホテルのコンセプトが定まらないという悩みがありました。そんな中、コロナ禍で団体のお

ホテル・ロッジ舞洲



①ホテル別館「ネスト」の最上階テラスは夕陽の絶景ポイント。六甲山から淡路島まで見渡せる／②ガーデンの中央には、ゆったりと火を眺める時間を楽しめる「森の焚き火リビング」／③開放感あふれるロケーションに広がる、全500席の屋根付きBBQサイト「森とリルのBBQフィールド」／④広大な庭では、あじさいの挿し木体験を楽しむことができる

北こぶしリゾート



①6月19日にリニューアルオープンしたサウナ「カクウナ」(「北こぶし知床ホテル&リゾート」内)／②「北こぶし知床ホテル&リゾート」の流氷テラス／③「KIKI知床ナチュラルリゾート」のキッズスペース「あそびの森」／④「夕陽のあたる家 Onsen Hostel」のロビー／⑤北こぶしリゾートでは、ヒグマと人がお互いに住みよいまちづくりを目指す「クマ活」に取り組んでいる

成田 現在、大阪観光局と連携し、舞洲ツーリズムのショーケースとしてで、都市部において緑の空間で過ごす価値を発信していきたいと思います。2025年には舞洲の隣の人工島・夢洲で万博が開催される予定ですので、それまでに新たな舞洲を創造したいと考えています。

成田 現在、大阪観光局と連携し、舞洲スポーツアーランド全体のエリアマネジメントに取り組んでいます。そのキーワードが「グリーンツーリズム」です。大阪都心からほど近い舞洲を未来のグリーンツーリズムのショーケースとしてで、都市部において緑の空間で過ごす価値を発信していきたいと思います。2025年には舞洲の隣の人工島・夢洲で万博が開催される予定ですので、それまでに新たな舞洲を創造したいと考えています。

成田 現在、大阪観光局と連